

視 察 報 告 書

1 視察年月日

令和5年7月5日から7月7日まで

2 視察場所

令和5年7月5日（水）高知県高知市役所

令和5年7月6日（木）愛媛県西条市役所

令和5年7月7日（金）愛媛県松山市役所

3 視察事項

○ 高知県高知市

こうちこどもファンドについて

○ 愛媛県西条市

移住・定住化政策について

○ 愛媛県松山市

選挙コンシェルジュ事業について

4 視察参加者（6名）

山野井 隆、須田光雄、関川 翔、石井めぐみ、入江洋一、結城 繁

5 視察行程

別紙のとおり

6 視察報告

別紙のとおり

上記のとおり報告します。

取手市議会議長 金澤 克仁 殿

令和5年8月18日

取手市議会会派みらい代表者 山野井 隆

茨城県取手市議会会派「みらい」行政視察研修行程表

視察研修開始時は会派代表の山野井 隆から、終了時は幹事長の入江洋一から、それぞれご挨拶させていただきます。

また、質疑応答時の進行は山野井会派代表が務めさせていただきます。

1日目到着空港の高知龍馬空港から3日目出発空港の松山空港までの間は、レンタカー（8人乗り1台）で移動します。

○ 7月5日（水）

※ JR取手駅西口改札集合

JL493

取手駅……………品川駅……………羽田空港……………高知龍馬空港……………
6:57 発 7:58 8:02 8:28 9:20 発 10:40 着

……………高知市視察研修……………宿泊地
14:00～15:30

○ 高知市議会事務局

住所：高知県高知市本町5丁目1-45 本庁舎3階

電話：088-823-9400（直通）

※ 研修事項

こうちこどもファンドについて

【宿 泊】

三翠園

住所：高知県高知市鷹匠町1-3-35

電話：088-822-0131

○ 7月6日(木)

宿泊地……………(西条市内昼食)……………西条市視察研修……………宿泊地
13:30~15:00

○ 西条市議会事務局

住所: 愛媛県西条市明屋敷164番地 西条市庁舎新館6階

電話: 0897-52-1261 (代表)

※ 研修事項

移住・定住化政策について

【宿 泊】

ドリーミン松山

住所: 愛媛県松山市大街道2-6-5

電話: 089-934-5489

○ 7月7日(金)

JL436

宿泊地……………松山市視察研修……………松山空港……………羽田空港……………

10:00~11:30

14:35 発

16:10 着

16:52 発

……………品川駅……………取手駅

17:10 着

17:17 発

18:13 着

○ 松山市議会事務局

住所: 愛媛県松山市二番町四丁目7-2 別館5階

電話: 089-948-6652

※ 研修事項

選挙コンシェルジュについて

取手市議会会派みらい代表 山野井 隆 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 須田 光雄

- 1 視察日 令和5年7月5日（水）
- 2 視察先 高知県高知市役所
- 3 調査項目 こうちこどもファンドについて
 - ① 事業概要について
 - ② 繰越金などの状況について
 - ③ この取組により活動団体も増えることが予想される中で、子育て世代の転入の推移と今後の見込みについて
 - ④ 宗教的活動、政治的活動は対象とならないとあるが、活動団体名を変えての虚偽申請等の対策について
 - ⑤ 今後の課題について
- 4 視察内容
 - ① 事業概要について
 - ・高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例
【平成15年4月制定】
 - ・こうちこどもファンドの元々の母体は公益信託高知市まちづくりファンド
【平成15年5月設立～現在】
 - ・こうちこどもファンド設立
【平成24年4月】
 - ・仕組みについては、市からの積立金（平成24年2000万円）プラス企業、市民からの寄付、クラウドファンディングにより集まったこうちこどもファンド原資を、事前審査会、こども審査員、大人審査員などによる公開審査会を行い、応募団体に助成する（上限20万円）
 - ② 繰越金などの状況について
 - ・現在繰越金の使用まで至っておらず、クラウドファンディングや寄付金の使用で済んでしまっている。

③ 宗教的活動、政治的活動は対象とならないとあるが、活動団体名を変えての虚偽申請等の対策について

- ・ 執行部として審査は厳重に行っているとのこと。
- ・ 応募してくる団体は生徒会が多い。

④ 今後の課題について

- ・ 今後は毎年 16 団体助成するのが目標としている。

5 視察所感

今回の視察におけるこうちこどもファンドの取り組みは、子供の教育、地域の活性化の観点からも参考になるものであった。

当市でも是非今後の参考としたい事業であった。

以上、高知県高知市の視察報告とします。

取手市議会会派みらい代表 山野井 隆 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 須田 光雄

- 1 視察日 令和5年7月6日(木)
- 2 視察先 愛媛県西条市役所
- 3 調査項目 移住・定住化政策について
 - ① 現在の転入・転出の状況について
(その状況の傾向や特徴)
 - ② 移住・定住政策で重要視し、力を入れている分野について
 - ③ 移住推進課の創設の経緯や概要について。あわせて、リブイン西条ハウス等の状況について
 - ④ 移住・定住化は、子育て・経済・福祉等幅広い分野の連携が必要と思われるが、市内連携の状況について
 - ⑤ 現在の課題、あるいは今後見込まれるものとして受け止めている課題について
- 4 視察内容
 1. 西条市の移住推進施策について
 - (1) 特徴的な取り組み
 - ア 「LOVE SAIJO」サイトによる移住促進情報の発信
移住検討者の「LOVE SAIJO」ファンクラブへの登録の誘導メール等での移住相談、メルマガによる移住情報(移住フェア・セミナー)案内
 - イ 東京・大阪での移住フェア出展
愛媛県が実施する東京、大阪での移住フェアに出展
移住検討者の呼び込み→移住検討者との面談→実際に西条市に来ていただく(アテンドサービス)
 - ウ 西条市単独移住セミナーの開催
東京、大阪で市単独の移住セミナーを実施、参加者のうちから西条市がターゲットとする若者・子育て世代で移住の確度が高いかたを移住体験ツアーに招待

エ 移住体験ツアー

移住セミナー参加者から移住検討者を選定し、一泊二日の移住体験ツアーに招待

西条市移住体験ツアーの特徴

- ・「観光スポット」を訪問するのではなく、「人をつなぐ」自分が移住後にイメージする生活に近い人に「逢いに行く」ツアー
- ・担当者が移住検討者に聞き取りを行いニーズに合わせて、生活、子育て施設、仕事、住居などアテンド先を選定しツアーを実施（完全オーダーメイド型の体験ツアー）
- ・61組 168人を招待、うち14組 39人が移住済（H30～R4年度）

オ お試し移住用住宅

市が移住検討者向けに一泊二日 2,000円でお試し移住用住宅を貸出

- ・観光、仕事目的での利用は不可
- ・37組 77人利用、うち9組 24人が移住（R元～R4年度）

カ 空き家バンク・移住者住宅改修補助金

- ・空き家バンク登録件数：売却 170件、賃貸 42件、合計 229件（R5.3末日）
 - ・成約件数：売却 40件、賃貸 6件、合計 74件（R5.3末日）
- 市の空き家バンク登録物件について県外からの移住・定住を促進するため、移住者が行う住宅の改修などに要する費用に対し、予算の範囲内において、西条市移住者住宅改修支援事業費補助金を交付

キ 移住支援金制度

西条市への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足解消のため、東京23区（在住者又は通勤者）から移住し、移住支援事業の対象とする求人に就業した方や起業支援金の交付決定を受けた方等に、予算の範囲内において移住支援金を交付

ク SAIJO BASE（ひと・夢・未来創造拠点複合施設）R4.7.1 運用開始

市民等の交流促進とチャレンジを応援するための施設

- ・起業、就職・転職、社会貢献、移住等何らかの形で関わりたいという人達を支援、「市内在住者」のみならず、「移住者」や「関係人口」を含めた「活動人口」を増やし、持続可能なまちづくりを実現するための施設
- ・「産業イノベーション機能」・「まちの人事機能」・「移住フルサポート機能」のワンストップ化を図る。チャレンジを応援するまちづくりを推進
- ・現在、移住コンシェルジュ2名が常駐し、空き家バンクの運営やお試し移住用住宅、移住相談業務などに従事

ケ 婚活イベント

若者の移住・定住を促進し、生産年齢人口の増加を図ろうとするもの「LOVE SAIJO de 愛イベント」として取り組み、年間2回のイベントを開催する中で、マッチング支援と交際フォローを行っている

2. 移住施策の特徴

- ・西条市の移住施策は、『人と人をつなぐ』ことをコンセプトに事業を実施
- ・移住検討者が移住後にイメージする生活に近い人に逢い、相談できることがカギ
- ・移住後も引き続き相談に乗っていただく。コミュニティに加えていただく
- ・良き相談相手 → 移住支援者の発掘
- ・移住相談員、移住支援者、先輩移住者が連携し、移住者・移住検討者をサポートする体制の整備



(西条市提供パンフレット)

5 視察所感

今回の視察における西条市の移住推進施策は、地域独自の利点をいかして運営されていた。

当市でも、地域の利点を考慮していかなければならない。

西条市の良いところを吸収し、積極的に提案していこうと思った。

以上、愛媛県西条市の視察報告とします。

取手市議会会派みらい代表 山野井 隆 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 須田 光雄

- 1 視察日 令和5年7月7日（金）
- 2 視察先 愛媛県松山市役所
- 3 調査項目 選挙コンシェルジュ事業について
 - ① 選挙コンシェルジュ事業の現在の構成人数と活動内容
 - ② 選挙コンシェルジュになったことによる学生の変化
 - ③ その他の協力体制
 - ④ 選挙コンシェルジュの取組による投票率の変化
 - ⑤ 投票率以外の部分で感じられるメリット

4 視察内容

選挙コンシェルジュ事業について

若者の投票率向上のための取組として、平成25年7月に全国初となる大学内での期日前投票所を設置した。

その後、平成25年11月に大学がある清水地区タウンミーティングでの学生からの意見を受け、大学連携について検討を行い、以前から学生の選挙啓発に関連して開票事務への学生派遣等に協力をいただいていた地元大学の先生から選挙啓発活動に関心を持つ学生を紹介していただき、平成26年2月に選挙コンシェルジュ1期生4名を認定したもの

① 選挙コンシェルジュ事業の現在の構成人数と活動内容

構成人数は現在(R5.7時点)、大学生18名

平常時は啓発イベントの企画や学校での出前講座を行っている。

選挙時は選挙啓発のチラシやポスターのデザイン作成、街頭啓発、防災行政無線を使用した投票呼びかけのほか、選挙毎に選挙管理委員会とコンシェルジュで企画会議を行い、イベントを実施している。

【事業費、予算】

令和5年度

(事業名)

若者と取組む選挙啓発推進事業

(事業費) 約 143 万円

- 選挙コンシェルジュ謝礼金 約 67 万円 (@1,115 円/h)
- 選挙クルー謝礼金 約 17 万円 (@8,300 円/1 件 20 回分)
- その他：消耗品・印刷費等約 26 万円
- 職員時間外手当、市内旅費等 約 33 万円

② 選挙コンシェルジュになったことによる学生の変化

学生に尋ねたところ、次のような意見があった。

- 主権者教育で大勢の前で話すことは貴重な経験となった。人前で話すことに苦手意識があったが、主権者教育を経験して自信が付きもっとやってみたいと思うようになった。
- 選挙時に民間企業で音声収録を行ったが、企業を訪問する経験が無かったため、他企業とのかかわりを知ることができ良かった。
- 市役所の内部でどのような仕事をしているかを経験することができた。将来公務員になりたいと思っており、参考になった。
- 選挙コンシェルジュの活動は、部活動やサークルだけでなく課外活動や自主プロジェクト運営などより大勢の方に個々の状況を踏まえた発言を行う必要がある場面にて大変役立った。今後は、社会人としてより多くの方に、多様な立場を踏まえたメッセージを発信する際などにも活かしていきたい。

③ その他の協力体制

・選挙クルー・プロジェクト

(コンシェルジュは個人であるのに対し、クルーは団体を認定する。)

選挙クルーについては、選挙コンシェルジュの個々の活動以外に、より専門・得意分野をもつ団体の支援があれば、さらに活動の幅がひろがると考え、平成 27 年 3 月に設置した。

現在は、6 団体を認定している。

平常時の出前講座のほか、愛媛大学学生祭での啓発などにご協力いただいている。

(団体名／認定年月日)

愛媛県立松山東高等学校放送部 平成 27 年 3 月 27 日

NPO 法人 松山大学学生地域創造研究所 Muse 平成 27 年 3 月 27 日

愛媛大学学生祭実行委員会 平成 27 年 3 月 27 日

NPO 法人 NEXT CONEXION 平成 27 年 3 月 27 日

愛媛大学メディアサポーターズ映像部 平成 27 年 3 月 27 日

一般社団法人 WONDER EDUCATION 令和 4 年 11 月 7 日

④ 選挙コンシェルジュの取組による投票率の変化

選挙コンシェルジュや選挙クルーの活動が投票率にどう影響したかは、関係を証明することができないため、成果としてあげることはできない。

⑤ 投票率以外の部分で感じられるメリット

本市が考える成果（メリットや効果）としては、行政からの一方的な啓発ではなく、啓発される側の若年層の意見を取り入れた取り組みを行えることが、より効果的な啓発事業につながっていると考えている。

また、チラシやポスター、啓発絵本等は選挙コンシェルジュが企画からデザイン・撮影等まで行うため、業者発注と比較しても安価で作成している。

さらに、大学での期日前投票所の設営も選挙コンシェルジュが行い、報道対応までしてもらっている。

このような選挙コンシェルジュといった若者が選挙啓発活動に取り組んでいることについては、報道も積極的に取り上げていただいております。結果としてお金をかけないで選挙周知・啓発ができていますといえる。

そして、選挙コンシェルジュの学生にとっても、これらの活動は貴重な経験であり、学生の視野を広げる一助にもなっていると考えている。

5 視察所感

当市でも投票率の低さは問題になっており、選挙コンシェルジュの取り組みは是非取り入れて行くべきだと考える。

取手市にあったやり方を話し合いたい。

以上、愛媛県松山市の視察報告とします。